

令和4年度 学校評価(自己評価)報告書

雲仙市立鶴田小学校

<p>学校教育目標</p>	<p>【学校教育目標】 かがやけ つるたっ子 コロナ禍ではあるが、「地域に開かれた教育課程」を常に意識して、家庭・地域社会と連携し、学校が担う教育的役割を十分に果たす。そのために、全職員がチーム一丸となって、学校教育目標の具現化に努める。</p> <p>目指す児童像 ○『じゅくり』 かんがえる子:進んで学び、しっかり考える態度 ○『どんどん』 がんばる子:最後までやりぬく強い心と体 ○『にっこり』 やさしい子:相手を思う心とやさしい笑顔 ○『きびきび』 けじめのある子:きまりを守る基本的な生活習慣</p>	<p>学校経営方針</p>	<p>法令や学習指導要領の趣旨、長崎県及び雲仙市の教育方針に則り、本校児童の実態及び教育の今日的課題、保護者・地域・社会の要請を踏まえて、一人一人にしっかりと向き合い、予測困難な社会の変化に対応できる心身共にたくましい児童の育成、ふるさとを知り、ふるさとを愛し、ふるさとを切り拓こうとする意欲をもつ児童の育成に努める。</p> <p>大切にしたい教師の3つの基本 (1)教師としての使命感に燃え、研修と実践に励む教師(授業力) (2)人間性豊かで、子どもとの心のふれ合いを深める教師(生徒指導力) (3)自らの職務を誠実にやり、誰からも信頼される教師(人間関係構築力)</p>			
<p>自校の現状</p>	<p>○素直で優しい心をもった子供たちである。 ○大きな生活指導上の問題がなく、基本的に落ち着いた学校生活を送っている。 ○保護者や地域住民が協力的である。 ●あいさつや返事が小さい、本校で一番の課題である。 ●学力は個人差が大きく、個別の指導を要する児童が多い。自主的・協動的な学習の基本となる学習習慣や表現力を鍛える必要がある。</p>	<p>重点努力目標</p>	<p>(1)知…学力向上のための工夫ある取組 ○日々の授業の充実・改善 (一人一人の子どもに合う意識の向上) ○基礎・基本の学力の定着・向上(RPDCAサイクルの確立) ○読書活動の充実・読書の習慣化(読書の質的向上・語彙力の向上) (2)徳…豊かな心(人の気持ちが分かるやさしさや思いやり) ○特別の教科 道徳の時間の充実 → 全教育活動での道徳教育の推進 ○命や人権を大切に指導と思いやりを形(言動)に表す指導の充実 ・はっきりした声であいさつや返事、基本的な生活習慣の徹底 ○特別支援教育の視点に立った児童理解(全児童・保護者・地域の理解推進) (3)体…健やかな体(たくましく生き抜くための体力・気力の向上) ○体育授業等の充実…基礎体力の向上・継続的な運動の推進 ○新型コロナウイルス感染症対策の徹底、ポストコロナへの意識 ○自分のめあてや仕事を最後までやりぬく責任感と達成感を育てる指導。</p>			
※1		※2		※3		
<p>領域</p>	<p>重点度 番号</p>	<p>評価項目(努力事項)</p>	<p>指標 (見とる方法と判断の目安) 達成度</p>	<p>成果 又は 課題</p>	<p>評価 改善策等</p>	
<p>学校教育活動の改善と充実</p>	<p>★① ★② ③ ④</p>	<p>児童の力を付ける授業(学習指導)の充実、教職員の指導力向上 学習指導要領の趣旨・ねらいを生かした指導と評価の実施 児童の体力づくりと健康教育の充実 読書活動の推進</p>	<p>保護者・教職員アンケートによる肯定的評価割合 90%以上 保護者・教職員アンケートによる肯定的評価割合 90%以上 保護者・教職員アンケートによる肯定的評価割合 90%以上 保護者・教職員アンケートによる肯定的評価割合 90%以上</p>	<p>◎ ◎ ◎ ○</p>	<p>◎ ◎ ◎ ○</p>	<p>A</p> <p>①校内研修を中心とした授業改善及び教職員の資質向上の取組は確実に進んでいる。校内研修のテーマである「めあて」と「まとめ」が児童に届く授業、主体的・対話的で深い学びについて研究を深めている。各学年の積極的な公開授業及び授業研究を実施することで、確実な指導力の向上が見られた。 ②学習指導要領の趣旨とねらいを確実に生かした指導と評価について、保護者・教職員の共通認識の上で児童に対して取り組んでいる姿は約92%と肯定的に評価されている。 ③児童の体力づくりに関しては、体育指導部を中心として全校的に実施し、コロナ禍ではあるが、全校長縄跳びや持久走の取組など、一定期間継続的に取り組んでいる。本年度も高学年で実施した新体力テストに関して良好な結果を得られ、保護者に対して適宜連絡した。学年や個人による差があることから継続的な指導と個別に支援していくことが課題である。 ④読書活動の推進については、各学年の活動推進による学校図書館利用の活性化によって読書活動は高い水準で推移している。しかし、読書の内容を見ると、全ての学年でイラスト中心の本を好む傾向が強く、小説や物語をしっかりと読み通すことについては課題である。</p>
<p>安全・安心な学校づくりの推進</p>	<p>① ★② ③ ★④</p>	<p>健康安全指導、食育指導の充実 いじめの根絶 人権・平和教育の推進(いじめ防止基本方針に基づく取組) 特別支援教育の充実 生徒指導の強化</p>	<p>保護者・教職員アンケートによる肯定的評価割合 90%以上 保護者・教職員アンケートによる肯定的評価割合 90%以上 保護者・教職員アンケートによる肯定的評価割合 90%以上 保護者・教職員アンケートによる肯定的評価割合 90%以上</p>	<p>◎ ◎ ◎ ○</p>	<p>◎ ◎ ◎ ○</p>	<p>A</p> <p>①給食指導・職員推進に関しては国見給食センターからの訪問指導を継続的に実施し、各学年の発達段階に応じた取組を進める。アレルギー対応や食育に関する取組は児童のみならず保護者にも関わることで、さまざまな機会や媒体を活用することで広く啓発を進める。 新型コロナウイルス感染防止に対する対策については継続的に取り組んでおり、マスクの着用や手指の消毒、検温など定着している。今後も新型コロナウイルス感染に限らず感染予防の意識を高めるよう取り組む。 ②いじめ防止については職員間の情報共有や取組を共通理解し、いじめの早期発見、早期解決を目指す。学校職員だけでなく保護者や学校支援会議委員などの地域の方からの情報を真摯に受け止めることによりいじめ防止を確実にする。 ③特別支援教育に関する保護者への啓発に関しては、新入学児童説明会や保護者への面談など細やかな対応を実施し、特別支援教育への理解を促す。</p>
<p>働き方改革の推進</p>	<p>★① ② ★③ ④</p>	<p>組織力を生かした協働体制の充実 自己研修の充実(目標管理制度との関連) 職場環境の整備と充実 児童一人一人と向き合う時間の確保</p>	<p>教職員アンケートによる肯定的評価割合 90%以上 教職員アンケートによる肯定的評価割合 90%以上 教職員アンケートによる肯定的評価割合 90%以上 教職員アンケートによる肯定的評価割合 90%以上</p>	<p>○ ○ ◎ ○</p>	<p>○ ○ ◎ ○</p>	<p>B</p> <p>①児童に関する様々な情報を共有することによって、よりよい学校組織となることを図る。 ②新たな目標管理の取組が定着することによって、自己研修の充実が図られる。さまざまな研修を計画的に、効果的に受けることでそれぞれのキャリアに応じた教職員としての資質の向上を図る。 ③毎学期の安全衛生推進委員会での協議など職場環境の充実を今後も継続的に実施していく。 ④児童一人一人と向き合う時間の確保については、今後も業務の精選やICT機器の活用による効率化を実施していくことで、細やかな指導ができる時間を全校的かつ計画的に確保する。</p>

重点努力目標に関わる評価項目に★をつける。
 各評価項目の達成度を、指標をもとに、◎(十分に達成できた)、○(概ね達成できた)、△(あまり達成できなかった)、▲(全く達成できなかった)で評価する。
 各領域全体を、評価項目の達成度をもちに、A(十分に達成できた)、B(概ね達成できた)、C(あまり達成できなかった)、D(全く達成できなかった)で評価する。